

## 2020「日本史研究」授業プリント No.1

### 《守護大名と国人一揆》

#### 1 守護から (1) )へ

##### (1) 守護の権限拡大

動乱の中で地方武士を統括する守護の軍事的役割

大犯三力条に加えて

- { (2) )を取り締まる権限
- { (3) )の権限

##### (2) 守護大名への成長

(4) ) = 荘園・公領の年貢の半分を徴収する権限



↓ 荘園・公領の侵略

**地方武士の家臣化**

(5) ) = 守護による年貢徴収請負

鎌倉期の守護 = 任期のみ権限



動乱期の守護 = **任国の(6) )化**

**(7) )** = 国全体への地域的支配権確立 ← 国衙機能の吸収

#### 2 国人一揆

(1) (8) ) = 地頭などの領主で地方在住の武士

↓ 独立の気質

(2) 国人一揆 = 目的遂行のために団結した自立的な地域権力

- { 守護大名への抵抗
- { (9) )
- { 農民支配の協力体制

( )組( )番 氏名( )

## 《室町幕府》

### 1 室町幕府体制の確立

3代将軍足利(①)、1378年に京都室町に(②)を設営

#### (1) 幕府権威の高まり

朝廷の権限(京都市政権・段銭賦課権)を吸収

足利義満、将軍辞任後に(③)となる

#### (2) 守護大名の勢力削減

(④)の乱(1390)=有力守護土岐康行を討滅

(⑤)の乱(1391)=六分一衆こと山名氏内紛に介入、

(⑥)を討滅

(⑦)の乱(1399)=有力守護(⑧)を討滅

#### (3) 南北朝の合体(1392)

九州探題(⑨)により、九州の南朝勢力衰退

南朝の(⑩)天皇から、北朝の(⑪)天皇に譲位

└─▶ 南北朝動乱が終結

### 2 室町幕府の職制

